

平成 22 年 5 月 6 日現在

研究種目：若手研究 (B)  
研究期間：2007 ～ 2010  
課題番号：19700560  
研究課題名 (和文) リーダーシップ育成の観点に基づく生涯にわたる  
「生活改善」実践力の構築  
研究課題名 (英文) Development of the practical abilities of enhancing the quality  
of life throughout the lifetime : Based on the viewpoint of  
leadership development  
研究代表者  
渡瀬 典子 (WATASE NORIKO)  
岩手大学・教育学部・准教授  
研究者番号：90333749

研究代表者の専門分野：総合領域

科研費の分科・細目：生活科学・生活科学一般

キーワード：家庭科教育、生活改善、リーダーシップ、婦人雑誌、ライフスタイル

## 1. 研究計画の概要

本研究課題の目的は、「個人・家族・地域社会の well-being 向上」を目指してきた近現代の実践（「生活改善運動」等）分析と今後の展開方策について検討することである。また、当該研究の特徴は学校教育（家政教育・家庭科教育）、生涯教育に経営学的な視点を入れた Transformative Leadership (変革型リーダーシップ) 育成の観点から教育支援システムの構築を目指すことにある。具体的な検討事項は以下の4点である。

- (1) 大正期から現在までの「生活改善」に関わる実践活動の整理（歴史的側面の整理）
- (2) 学校教育における「生活改善」に関わる教育目標・内容の検討（現状課題の明確化と評価）
- (3) 中高齢期における TL 育成システムの基礎調査（現状課題の明確化と評価）
- (4) 学校教育と（地域）社会との連携システムの検討

## 2. 研究の進捗状況

(1) について、大正期の都市における「生活改善運動」、昭和期における「生活改善運動」（「生活改良普及事業」、「新生活運動」等の事業、『婦人之友』、『暮らしの手帖』等の雑誌記事）に関する資料分析を行った。とくに、「生活改善運動」の機運が高かった 1950-60 年代の分析のほか、農村における「生活改善

活動」の活動目標・活動内容・構成員・組織化について分析し、口頭・論文発表をした。例えば、「台所の改善」「栄養改善」「冠婚葬祭等の簡素化」は共通目標のもと変革が進められていくが、1950 年代から 60 年代にかけて運動のピークを迎えるとともに 60 年代後半には、その実践状況や内容が多様化し、変質していく。

また、上述の(2)については①「学校家庭クラブ活動」「ホームプロジェクト」における事例分析、②消費生活分野の教材をもとに、生活改善視点と密接に関わる「生活の合理化」「ライフスタイル変容」と教育目標・内容との関わり、③アメリカの改訂版家庭科ナショナルスタンダードにおける「リーダーシップ育成」の視点、について同じく口頭・論文発表を実施した。①では、前項に言及した「生活改善運動」の目標設定、実施状況に関連するような取り組みが見られた。また、同活動では、地域社会のリーダーを担うための教育が実践されてきたことを再認識したが、同時にこの点において実践上の障壁があることも明らかになった。

(3) は、主に中高年を対象とする「高齢者大学」や地域づくりに関する公開講座等の報告事例をもとに、社会教育における「生活改善」目的が主にどのような事柄に力点が置かれてきたのか、参画においてどのような課題があるのか、(4) は 2001 年以降の教育実践を

中心にリーダーシップ育成の観点から現在分析中である。

### 3. 現在までの達成度

「区分②：おおむね順調に進展している」

<理由>

当初の計画では、平成 19-21 年度までに、「1. 研究計画の概要」に挙げた(1)、(2)の内容の発表(口頭発表、論文)、(3)の基礎調査の実施の完遂を目標とした。しかし、平成 22 年度も(1)、(2)の発表、(3)の本調査を実施予定のため、「区分②：おおむね順調に進展している」とした。

### 4. 今後の研究の推進方策

本研究課題は、4 つの内容枠組みに基づいて実施してきた。「3. 現在までの達成度」の項で言及したように、(1)及び(2)について、これまで収集してきた資料をもとに、論文化を進めていく。また、(3)と(4)については、資料収集、研究方法の検討をする中で、研究視点・対象がやや拡散してしまう傾向にあるため、当該課題に関連する部分に焦点化させ、4 つの内容枠組みのまとまりをつけるようにする。

### 5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕(計 4 件)

- ①渡瀬典子、ブリティッシュコロンビア州における教育改革－「Home Economics10」と「Planning10」－、日本家庭科教育学会誌、52 巻 3 号、195-202、2009、査読有
- ②渡瀬典子、雑誌「婦人之友」友の会活動における 20 世紀後半の農村生活改善－盛岡生活学校と「東北部友の会」－、岩手大学生涯学習論集第 5 号、1-11、2009、査読無

〔学会発表〕(計 6 件)

- ①Noriko Watase, Nurturing Leadership in Students through Home Economics Education-Analysis of the Revise Home Economics Curriculum in Japan-, Canadian Symposium10, 2009 年 3 月 28 日, Radisson Hotel, Saskatoon, CANADA
- ②渡瀬典子、日米の学校家庭クラブ活動におけるリーダーシップ育成、日本家庭科教育学会 第 51 回大会、2008 年 6 月 28 日、グランシップ静岡

- ③渡瀬典子、生活改善のための「因習打破」再考、日本家政学会 第 61 回大会、2008 年 6 月 1 日、日本女子大学

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

〔その他〕

ホームページ

<http://ir.iwate-u.ac.jp/dspace/handle/10140/3084>